



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 フランスベッドホールディングス株式会社

コード番号 7840 URL <https://www.francebed-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 池田 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理グループ担当 (氏名) 島田 勉 TEL 03-6741-5501

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	24,398	△7.3	1,272	14.2	1,480	36.6	851	27.6
2020年3月期第2四半期	26,329	4.0	1,113	△2.4	1,083	△6.3	666	△3.3

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 743百万円（71.5%） 2020年3月期第2四半期 433百万円（8.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	21.95	—
2020年3月期第2四半期	17.07	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	59,901	37,676	62.8	971.75
2020年3月期	59,798	37,481	62.6	966.70

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 37,676百万円 2020年3月期 37,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	14.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△4.6	2,500	0.3	2,600	6.7	1,600	5.2	41.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社 （社名）株式会社翼、除外 1社 （社名）

（注）詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	41,397,500株	2020年3月期	41,397,500株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,625,685株	2020年3月期	2,625,530株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	38,771,899株	2020年3月期2Q	39,040,276株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2020年12月1日（火）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下「当期」という。）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が停滞するなか、景気が急速に悪化し、極めて厳しい状況で推移いたしました。5月下旬に全国の緊急事態宣言が解除された後は、経済活動は徐々に再開されつつあり、一部持ち直しの動きが見られるものの、未だ不確実性が高く、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、引き続き中期経営計画の主な施策である「シルバービジネスの更なる強化（得意分野への経営資源の集中）」ならびに「インテリア健康事業の収益性の改善」に全力を挙げて取り組んでおります。

当期におきましては、メディカルサービス事業は、主力の福祉用具貸与事業がコロナ禍が続く中でもご利用者の方々やそのご家族の生活を維持するために欠かせない介護サービスとして堅調に推移しました。また、インテリア健康事業は、当期後半以降、事業活動の正常化が進み業績は回復基調にあるものの、緊急事態宣言下における経済活動の自粛による売上減少分を補いきれなかった結果、当期の当社グループ全体の売上高は24,398百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

利益面では、売上原価率の改善や販管費の抑制に努めたことにより、営業利益は1,272百万円（前年同四半期比14.2%増）、経常利益は1,480百万円（前年同四半期比36.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は851百万円（前年同四半期比27.6%増）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① メディカルサービス事業

主力の福祉用具貸与事業においては、従業員の検温等の体調管理、マスクの着用、訪問前後の手指の消毒徹底等、感染防止に最大限配慮しつつ、サービスを継続して提供してまいりました。なお、当期より香川県に本社を置き福祉用具貸与事業などを展開している株式会社翼を連結の範囲に含めております。

2020年1月から、地域限定でレンタルを開始した寝姿勢から立ち上がり姿勢まで4つのポジションに変形し、ご利用者の自立支援や介護者の負担軽減を実現する新商品「離床支援マルチポジションベッド」については、順次展開地域を拡大し、展開地域内でTVコマercialなどによる広告宣伝を行うとともに、ケアマネジャーなどへ小規模の商品説明会を開催することで、適合するご利用者像の共有化を図り、商品特性を訴求いたしました。

病院・福祉施設等に対しましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により営業活動が十分できない状況が続く中で、主力のベッド及び付属品の販売に加え、オゾン発生装置や使い捨て手袋などの新型コロナウイルス感染症対策商品の販売にも取り組んでまいりました。

以上の結果、メディカルサービス事業の売上高は15,015百万円（前年同四半期比3.0%減）、営業利益は1,227百万円（前年同四半期比7.5%増）となりました。

② インテリア健康事業

インテリア健康事業においては、当社グループのショールームを3箇所新設（東京都港区、静岡県掛川市、長野県塩尻市）、1箇所増床し（三重県津市）、事前予約制や入場制限を行うなど感染予防対策を徹底した上で、お客様の健康維持や睡眠の質の向上に繋がる高付加価値商品をご覧頂く場を拡大いたしました。また、需要が増加しているインターネット通販企業向けには、3つ折りできるスプリングマットレス「フォールドエア」などの宅配可能な商品の拡販に注力いたしました。

高付加価値商品の拡販においては、東洋紡株式会社と共同開発した除菌機能糸「アグリーザ®」を使用し、マットレス自体に除菌効果を付与した、業界初の衛生に特化した寝具ブランド「キュリエス・エージー®」のマットレスが、衛生に対する関心度の高い購買層を中心に好調に推移いたしました。また、本年8月からは、同ブランドより、新たに羽毛ふとん「AS キュリエス・エージー95」と掛けふとんカバーの販売を開始いたしました。

国内ホテルに対しましては、インバウンド需要の激減や出張・旅行の自粛などにより、ホテルの客室稼働率が大幅に下落し、新規需要及び更新需要がそれぞれ後退する中で、他社に無い、当社独自の機能商品である、ホテル仕様の「キュリエス・エージー®」マットレスの促進や、ホテルのテレワーク利用拡大に向けたデイベッド等の客室提案を実施いたしました。

以上の結果、インテリア健康事業の売上高は、9,185百万円（前年同四半期比14.0%減）、営業利益は24百万円（前年同四半期は営業損失47百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）と比較して102百万円増加し59,901百万円となりました。流動資産は前期末と比較して108百万円減少し31,727百万円となりました。主な要因として、増加については、現金及び預金4,016百万円などであり、減少については、受取手形及び売掛金（電子記録債権を含む）860百万円、有価証券1,199百万円、たな卸資産581百万円、未収入金1,536百万円などがあります。固定資産は前期末と比較して222百万円増加し28,135百万円となりました。主な要因は、有形、無形固定資産の取得及び償却、投資有価証券の時価上昇による増加などがあります。

(負債)

負債は、前期末と比較して92百万円減少し22,224百万円となりました。主な要因は、未払法人税等520百万円、未払消費税143百万円などの増加に対し、支払手形及び買掛金（電子記録債務を含む）898百万円などの減少によるものであります。

(純資産)

純資産は、前期末と比較して195百万円増加し37,676百万円となりました。主な要因として、増加については、親会社株主に帰属する四半期純利益851百万円などであり、減少については、剰余金の配当542百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前期末の62.6%から62.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、現金及び現金同等物残高が前期末と比較して2,716百万円増加し、13,353百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,878百万円の収入（前年同四半期は177百万円の収入）となりました。主な要因として、収入については、税金等調整前四半期純利益1,330百万円、非資金項目である減価償却費2,400百万円の計上、売上債権の減少883百万円、法人税等の還付1,558百万円などによるものであり、支出については、仕入債務の減少923百万円などによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,676百万円の支出（前年同四半期は2,995百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得2,292百万円、及び子会社等への貸付金125百万円による支出などによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、557百万円の支出（前年同四半期は532百万円の支出）となりました。主な要因として、収入については、短期借入れ300百万円、セール・アンド・リースバック1,355百万円であり、支出については、社債の償還300百万円、ファイナンス・リース債務の返済1,370百万円、配当金の支払い541百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月31日付「2021年3月期 第1四半期決算短信」にて公表した業績予想につきましては、変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,737	11,753
受取手形及び売掛金	8,822	8,037
電子記録債権	788	714
有価証券	3,499	2,300
商品及び製品	5,764	5,177
仕掛品	400	406
原材料及び貯蔵品	2,057	2,057
その他	2,771	1,287
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	31,836	31,727
固定資産		
有形固定資産	17,618	17,679
無形固定資産	1,696	1,615
投資その他の資産	8,597	8,840
固定資産合計	27,913	28,135
繰延資産	48	37
資産合計	59,798	59,901
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,828	2,222
電子記録債務	2,140	1,848
短期借入金	2,700	3,000
1年内償還予定の社債	600	600
未払法人税等	68	589
賞与引当金	1,221	1,289
その他の引当金	11	7
資産除去債務	17	38
その他	4,777	4,994
流動負債合計	14,365	14,590
固定負債		
社債	3,000	2,700
長期借入金	300	300
引当金	61	69
退職給付に係る負債	510	529
資産除去債務	276	342
その他	3,802	3,691
固定負債合計	7,951	7,633
負債合計	22,317	22,224

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	0	0
利益剰余金	34,676	34,979
自己株式	△2,507	△2,507
株主資本合計	35,168	35,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△49	31
繰延ヘッジ損益	1	0
退職給付に係る調整累計額	2,360	2,172
その他の包括利益累計額合計	2,312	2,204
純資産合計	37,481	37,676
負債純資産合計	59,798	59,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	26,329	24,398
売上原価	13,356	11,573
売上総利益	12,973	12,825
販売費及び一般管理費	11,860	11,553
営業利益	1,113	1,272
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	14	15
持分法による投資利益	0	0
雇用調整助成金	—	222
その他	79	73
営業外収益合計	97	312
営業外費用		
支払利息	28	31
その他	99	72
営業外費用合計	127	104
経常利益	1,083	1,480
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	7	3
減損損失	10	43
臨時休業等による損失	—	102
特別損失合計	17	149
税金等調整前四半期純利益	1,065	1,330
法人税、住民税及び事業税	106	516
法人税等調整額	292	△37
法人税等合計	399	479
四半期純利益	666	851
親会社株主に帰属する四半期純利益	666	851

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	666	851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	80
繰延ヘッジ損益	4	△0
退職給付に係る調整額	△220	△188
その他の包括利益合計	△233	△107
四半期包括利益	433	743
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	433	743
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,065	1,330
減価償却費	2,162	2,400
減損損失	10	43
固定資産売却損益 (△は益)	0	△0
固定資産除却損	7	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	55
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5	△6
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△27	△20
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△221	△204
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△62	3
受取利息及び受取配当金	△17	△16
支払利息	28	31
持分法による投資損益 (△は益)	△0	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
雇用調整助成金	—	△222
売上債権の増減額 (△は増加)	423	883
たな卸資産の増減額 (△は増加)	34	588
仕入債務の増減額 (△は減少)	△217	△923
未払費用の増減額 (△は減少)	△121	12
その他	△386	241
小計	2,667	4,197
利息及び配当金の受取額	15	16
利息の支払額	△28	△31
雇用調整助成金の受取額	—	137
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,476	1,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	177	5,878

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,760	△2,292
有形固定資産の売却による収入	1	0
有価証券の取得による支出	—	△700
有価証券の償還による収入	—	600
投資有価証券の取得による支出	△0	△59
投資有価証券の売却による収入	—	0
貸付けによる支出	—	△125
貸付金の回収による収入	13	—
無形固定資産の取得による支出	△251	△99
その他	1	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,995	△2,676
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	350	300
社債の償還による支出	△300	△300
自己株式の取得による支出	△494	△0
セール・アンド・リースバックによる収入	1,664	1,355
リース債務の返済による支出	△1,141	△1,370
配当金の支払額	△608	△541
その他	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△532	△557
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,353	2,646
現金及び現金同等物の期首残高	13,988	10,636
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	70
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,635	13,353

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありました株式会社翼は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディカル サービス	インテリア 健康	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,480	10,687	26,167	162	26,329	—	26,329
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	166	167	2	170	△170	—
計	15,481	10,853	26,335	165	26,500	△170	26,329
セグメント利益又は損失(△)	1,141	△47	1,093	2	1,095	17	1,113

当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディカル サービス	インテリア 健康	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,015	9,185	24,200	198	24,398	—	24,398
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	133	136	2	139	△139	—
計	15,017	9,319	24,337	201	24,538	△139	24,398
セグメント利益	1,227	24	1,251	2	1,253	18	1,272

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	496	508
全社費用※	△478	△489
合計	17	18

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	メディカル サービス	インテリア 健康	計				
減損損失	—	10	10	—	10	—	10
計	—	10	10	—	10	—	10

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	メディカル サービス	インテリア 健康	計				
減損損失	—	43	43	—	43	—	43
計	—	43	43	—	43	—	43

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2020年9月29日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるフランスベッド株式会社を通じてカシダス株式会社の株式を取得し子会社化(当社の孫会社)することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。これに基づき、2020年10月30日付で同社の株式取得手続きを完了いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称および事業の内容

被取得企業の名称：カシダス株式会社

事業の内容：福祉用具のサービス事業、住宅改修事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループの主力事業であるメディカルサービス事業においては、その中心事業である福祉用具貸与事業のシェア拡大などを目的として、営業拠点の拡充やM&Aの活用などにより、事業基盤と事業規模の拡大に取り組んでおります。

このたび株式を取得したカシダス株式会社は、ロングライフホールディング株式会社を中心とする、主に介護事業を展開しているロングライフグループの一員として、2011年の設立以来、福祉用具の販売やレンタルなどの福祉サービスの提供を行っている企業です。

今回の株式取得により、当社グループにカシダス株式会社が保有する顧客基盤が加わることで、当社グループのメディカルサービス事業の事業基盤がさらに強固なものとなり、事業規模の拡大につなげることが可能と考えております。

(3) 企業結合日

2020年10月30日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とした株式取得

(5) 結合後の企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100.0% (間接所有)

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 被取得企業の取得原価および対価の種類ごとの内訳

取得価額については、当事者間の守秘義務により非開示としております。

3. 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザー費用等 42百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。